

# 令和7年度 岡山県教科指導支援事業 【小規模校連携モデル研究】 国語合同教科会の取組と授業実践

指定校（高梁市立川上中学校・高梁北中学校・高梁東中学校・有漢学園）  
連携校（高梁市立高梁中学校・成羽中学校）

# 国語合同教科会

## 1 取組の目的と組織 資料P 2

### (1) 目的「教科指導支援事業（小規模校連携モデル研究）」

一人の教員が全学年の教科指導を担当している小規模の中学校における学力向上にあたり、教科研究推進員が定期的な合同教科会を開催し、関係教職員と共に日常的な**授業改善の取組の充実と授業力の向上のための体制づくり**に取り組む。

## 2 取組の概要

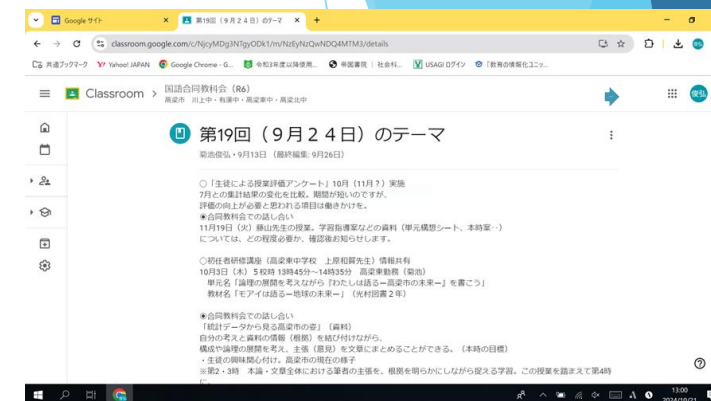
### (1) 効果的な合同教科会の構築・実施 資料P 2

- ▶ ①授業参観（授業支援及び指導）と記録
- ▶ **授業内容をGoogle Classroom 国語合同教科会（R 6・7）に記録。**  
各校の授業展開・進度を共有。
- ▶ R 6 年度 指定 4 校 計281回
- ▶ R 7 年度 指定 4 校 計162回（10月末現在）
- ▶ 指定校以外の高梁市内 2 校も「連携校」としてClassroomに参加。
- ▶ 高梁市内中学校の国語科教員が授業内容や進度を知る手立てにしている。
- ▶ 授業を振り返り、改善する機会にもなる。



## ②Google Classroomを活用した迅速な 情報共有や資料提供 資料P 3

- ▶ **週 1 回・45分枠（火曜日 14時35分～15時20分。  
Google Meetによるオンライン会議）**  
4月22日から13回（10月末現在）
- ▶ ※終了時間は各校の清掃開始を考慮して。  
学校行事等のため全員参加が難しいこともあるが、計画的に実施。  
テーマや課題を設定して協議。
- ▶ 授業（予習、復習）・作品審査（作文、習字）の情報交換、学習指導  
案検討。初読の文章問題を読み解く力の育成。全国又は県学力・学習  
状況調査の結果分析を踏まえた授業づくり。
- ▶ → 県小規模校連携アドバイザー及び市教委から継続した指導助言



### ③研究授業及び協議 資料P 4

- ▶ **原則月 1 回・ 2 時間枠**（合同教科会と兼ねて実施。授業担当校に集合。
- ▶ 火曜日14時30分～16時30分）**研究協議での話し合いの焦点化**を図るため、
- ▶ 事前に**授業のポイントを共有**し、授業参観する。昨年度は 3 学期に連携校でも 1 度実施。
- ▶ → 県小規模校連携アドバイザー及び市教委から継続した指導助言
  
- ▶ 【実践例】川上中学校〈意見文を書く〉
- ▶ グループで考えた具体例をもとに、筆者の考えを肯定する意見文を
- ▶ 200字程度で書く。（グループ・個人思考）

◎**文例提示**「筆者は～だと言っている。実際、こんなことがある。  
（**具体例記述**）だから、**筆者の考えに賛成できる。**」

★読み取った主張に対して、肯定的な考えを述べる。

★「抽象化してまとめられた筆者の主張

→ 自分のこととして具体化した事例」を意識して、考えをまとめる。

## (2) 組織的・協働的な授業改善の方向性の確立

資料P 5

- ▶ ①各教員の**課題の明確化と共有化**を図り、共に**解決イメージ**に向けて取り組む。Google Classroom 国語合同教科会で授業内容を記録する際、課題の明確化と共有化を示す。授業との関連性を確認できるようにする。
- ▶ ●【課題（個人、各校研究主題との関わり）】 ※ 3 つある課題の 1 つ
- ▶ ↓ 教師主体から生徒主体の授業へ
- ▶ ●【具体的な手立て】
- ▶ ↓ ペア・グループワークの積極的な設定
- ▶ ●【達成された姿・達成状況】
- ▶ 前時の復習、振り返りの場面においても、自分の言葉で自信をもって表現できる

課題 2 の場合

## 【実践例】高梁東中学校 資料P 6

単元名「論理の展開を考えながら『わたしは語る－高梁市の未来－』  
を書こう」

教材名「モアイは語る－地球の未来」 （論説）

- ▶ ●ペアになり、意見文を読み合い、相互にアドバイス。
- ▶ ★教師主体から生徒主体の授業へ
- ▶ ⇒ ペア・グループワークの積極的な設定

### 【確認ポイント】

- ▶ ・主張が明確に書かれているか。
- ▶ ・主張に合った根拠か。
- ▶ ・構成や展開は工夫されているか。
- ▶ ・誤字脱字はないか。

意見と根拠  
の関係

## (2) 組織的・協働的な授業改善の方向性の確立 ※抜粋

資料P 7

- ▶ ⑤岡山県授業改革推進チーム（チーム備北）による「単元構想シート」を活用した授業改革。

〈参考資料〉

・これからの授業設計・単元づくりで生まれる新しい学び  
「単元構想シート実践事例集」

【参照】

- ・板書型学習指導案
- ・OPPA単元シート

- ▶ ・「指導と評価の一体化」を目指す単元づくり
- ▶ 「単元」づくりで「授業」が変わる！－単元構想シートの作成を一步先へ！
- ▶ ⑥学習指導案の意見交換。
- ▶ 研究授業の前に授業展開を協議し、相互に研修を深める。
- ▶ 例 初任者研修講座（高梁東中学校）



### (3) 学力向上のための学習指導要領を踏まえた 授業づくり 資料P8

- ▶ **目的に応じて必要な情報を正しく読み取り、要約する力の育成**。全国学力・学習状況調査の結果を分析した高梁市教育委員会による考察も踏まえて、課題を明確にして授業改善に取り組む。
- ▶ 【実践例】授業研究発表会 有漢中学校（昨年度）
- ▶ 単元名「『不便』の価値を見つめ直す」（意見）第1学年
- ▶ 〈単元構想シート〉
- ▶ ①**付けたい力**
  - ▶ ・必要な情報を取り出し、結び付けて要約することができる。
  - ▶ ・筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつことができる。
- ▶ ②**ゴールの姿**
  - ▶ ・筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもっている。

昨年度の公開授業

単元構想シートP9  
 板書型学習指導案P10  
 国語科OPPA単元シートP11・12

【単元構想シート】

第（ 1 ）学年 教科・分野（ 国語科 ）

単元名「『不便』の価値を見つめ直す」

① 付けたい力

・必要な情報を取り出し、内容を正しく捉えることができる。  
 ・筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつことができる。

② ゴールの姿

筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもっている。

③ 単元を貫く問い

この題材で要約を競え！藤山アワード2024🏆

④ 入口の姿  
既習事項

・1学期に文章の中心的部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握する学習をしている。また、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを書く学習をしている。

⑥ 働かせる  
見方・考え方

・必要な情報を取り上げ、吟味する。  
 ・内容を分析し、正しく捉える。  
 ・筆者の主張の要点をまとめる。

⑤ 学習内容  
学習活動

・語句の意味、新出漢字を確認する。  
 ・要旨の定義を確認して、要旨を捉え、キーワードを挙げる。  
 ・「不便益」の定義を確認する。  
 ・「不便のよい面」と「便利の悪い面」をまとめる。  
 ・要約の定義を確認する。  
 ・要約文を比べ合い、要約するときのポイントを見つける。  
 ・150字程度で要約する。  
 ・日常生活にある「不便益」を見つける。  
 ・筆者の主張に対する自分の考えを書く。

⑦ 単元の流れ

時	1・導入	2	3（本時）	4	5・6・終末
主な学習活動	・OPPA単元シートに記入する。 ・語句の意味、新出漢字を確認する。 ・要旨の定義を確認して、要旨を捉え、キーワードを挙げておく。	・「不便益」の定義を確認する。 ・「不便のよい面」と「便利の悪い面」をまとめる。 ・要約の定義を確認する。 ・家庭学習として、要約文を個人で作る。	・家庭学習で作ってきた要約文を比べ合い、要約するときのポイントを見つける。	・前時で見つけた要約のポイントを活用して、150字程度で要約する。 ・日常生活にある「不便益」を見つける。	・筆者の主張に対する自分の考えを書く。 ・OPPA単元シートに記入する。
評価計画	知・主	知・思	知・思	知・思	知・思・主

⑧ 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・要約するための情報を吟味しながら整理のしかたを理解し、分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示すことができる	・目的に応じて必要な情報に着目する。 ・内容を分析して、正しく捉え、筆者の主張の要点をまとめる。	・目的に応じて必要な情報に着目しようとしている。 ・内容を分析して、正しく捉え、筆者の主張の要点をまとめようとしている。

<p>○本時の目標（めあて）</p> <p>要約文を比べ合い、要約するときのポイントを見つけることができる。</p> <p>○指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• OPPA 単元シート</li><li>前時の復習の際に活用したり、本時の振り返りを視点に従って書いたりすることで、次回の学習につなげる。また、単元を貫く問いについて、毎時間、「現時点の考え」を記入させることで、主体的な学習につなげる。</li><li>• 家庭学習とのつながり</li></ul>	<div><div>授業の流れ</div><div>復習 めあて 確認 話し合い 発表 まとめ 振り返り</div><div>○ま</div><div>・具体例は基本的に省く ・繰り返し出てくる言葉を重視する ・結論に着目する</div><div></div><div>○め</div><div>「不便」の価値を見つめ直す</div><div>要約文を比べ合い、要約するときのポイントを見つけよう。</div><div>要約…文章全体を短くまとめること。</div></div>
<p>○評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 要約するための情報を吟味しながら整理のしかたを理解できる。（ワークシート、観察）[知識・技能]</li><li>• 内容を分析して、正しく捉え、筆者の主張の要点をまとめている。（オクリンク、観察）[思考・判断・表現]</li></ul> <p>○準備</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 教科書、ワークシート、iPad</li></ul>	<div><p>○本時の流れ</p><p>○前時の復習</p><ul style="list-style-type: none"><li>• OPPA 単元シートを用いて前時の復習をペアで行う。（3分）</li></ul><p>①めあてを作る。</p><ul style="list-style-type: none"><li>• 家庭学習を踏まえて「めあて」を話し合い、設定する。また振り返りの視点も考える。（2分）</li></ul></div> <div><p>②家庭学習の確認をする。</p><ul style="list-style-type: none"><li>• 要約文をオクリンクプラスのみんなのボードに送る。（5分）</li></ul></div> <div><p>③要約文を比べ合う。</p><ul style="list-style-type: none"><li>• 最も良いと判断した要約文の特に良いと感じた部分に名前のカード（赤色）を貼る。同時に、良いと判断した理由を書く。（15分）</li></ul></div> <div><p>④要約するときのポイントを見つける。</p><ul style="list-style-type: none"><li>• カードを貼った部分を中心に話し合う。</li><li>• 要約するときのポイントを見つけ、カード（黄色）に記入する。</li><li>• 発表する。（10分）</li></ul><p>2026/2/9</p></div> <div><p>⑤まとめ・振り返りを行う。</p><ul style="list-style-type: none"><li>• オクリンクプラスを確認し、まとめを作成してワークシートに記入する。（10分）</li><li>• OPPA 単元シートを用いて振り返りを行う。（5分）</li></ul><p>11</p></div>

「不便」の価値を見つめ直す（教科書 P.176～185）※一部改

身に付けてほしい力

- ・ [知識・技能] 必要な情報を取り出し、内容を正しく捉えることができる。
- ・ [思考・判断・表現] 筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつことができる。
- ・ [主体的に学習に取り組む態度] 筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもとうとしている。

「単元を貫く問い」    この題材で要約を競え！ 藤山アワード 2024

学習前

① 要約とは？

「問い」の解決に役立ちそうな、これまでの学び

「問い」から疑問に思ったこと

学習後

「単元を貫く問い」に対して、自分の考えを書きましょう。

学習前と学習後の記述内容を比較して、考えが深まったり変化したりしたこと、思ったことや感じたことを書きましょう。

「振り返り」で気をつけること

- 1 80字以上を、2文以上で、適切な接続詞を用いて書きましょう。
- 2 敬体（例：わかりました）ではなく、常体（例：わかった）で書きましょう。
- 3 「わ・が・と・も・よ」に加えて、「振り返り」の視点をふまえて書きましょう。

単元を貫く問いについて、毎時間、「現時点の考え」を記入しましょう！

第1時

日付	／		キーワード											
めあて														
振り返り <div>○</div> (    )	1									10				
		20									30			
			40									50		
				60									70	
					80									90
						80								90

単元を貫く問いに対する現時点の考え

※中略

第6時

日付	／		キーワード											
めあて														
振り返り ○ (    )	1									10				
		20									30			
			40									50		
				60									70	
					80									90

単元を貫く問いに対する現時点の考え

「振り返り」の視点

- A この学習で意識したこと

B この学習のできるようになったこと

C 課題解決のために試行錯誤したこと

D ねらいを達成するためにきっかけとなったこと
- E 参考となった友達の発言やアドバイス

F 今後の学習や生活に生かせそうなこと

G 工夫してみたが十分ではなかったこと

## 【実践例】高梁北中学校 資料P14

単元名「俳句の可能性」第3学年 ★語彙を増やし、語感を磨く

- ▶ ◎めあて：季節がもたらす印象の違いについて理解し、こだわって季語を選んでみよう。
- ▶ ★「7文字縛り」で俳句を作る。
- ▶ 〈手順〉用意された言葉の中から「七文字」を選び、俳句を完成させる。
- ▶ 夏の空 / **仲間と目指す** / 一勝を（生徒の例）
- ▶ 季語・・夏
- ▶ 季語の意味・・梅雨明けの真っ青な原色の空
  
- ▶ 〈生徒の振り返り〉
- ▶ ・私は「**スマホの画面**、通知なし」にしたので、季語には悲しそうなイメージがある、冬の季語を入れるように頑張った。
- ▶ 〈研究協議〉
- ▶ ・お題を選んで、イメージできる言葉・内容を考えることで想像力の幅が広がり、次の俳句づくりにつながると感じた。

## （４）授業力向上のための持続可能な体制づくり 資料P16

①指定校の教務担当を中心として時間割調整を行い、合同教科会の実施日時を固定することで、定期的の実施できるようにする。合わせて、合同教科会に向けた準備時間を確保する。

②取組のなかで、校内研究主題に関連した部分や他教科で活用できる事柄について、教科研究推進員を中心に他の教員に広げる。

### ●課題として検討の必要性がある事柄（来年度以降について） ※抜粋

#### ①効果的な合同教科会の構築・実施

- ・授業参観
- ・Google Classroomを活用した迅速な情報共有や資料提供
- ・授業研究及び研究協議

#### ②組織的・協働的な授業改善の方向性の確立

- ・各教員の課題の明確化と共有化を図り、共に解決イメージに向けて取り組む。

### 3 共通課題の解決に向けた合同教科会の取組

#### (1) 学力における課題の把握と対応策の考察

〈学ぶ力の育成のために〉 資料P16

- ▶ 【分析対象】学力状況調査4月（全生徒）
- ▶ ・1・2年生…令和6年度 岡山県学力・学習状況調査
- ▶ ・3年生…令和6年度 全国学力・学習状況調査
- ▶ 【実態の把握・共有】読むこと（構造と内容の把握、精査・解釈）について、共通の課題が見られる。

#### 【共通課題】

- ▶ ・説明的な文章（報告、論説、評論、解説）の内容を読み取る。  
**目的に応じて必要な情報を正しく読み取り、「要約」する。**
- ▶ ・文学的な文章（小説、物語）の内容を読み取る。  
**構成・場面の展開を捉えて、あらすじをまとめる。**

## (1) 学力における課題の把握と対応策の考察 〈学ぶ力の育成のために〉 資料P16

- ▶ 説明したり文章にまとめたりする学習の際に、**生徒一人ひとりの理解や解釈が適切であるかを検討する場面（ペア・グループ学習）を設定し、必要に応じて修正したり更新させたりする。**その後、**必要な情報、正確な情報を全体で確認**していくなどして、丁寧な指導を心掛ける。

※課題と対応策については高梁市教育委員会の分析を記載。合同教科会においても共通課題として、生徒の学力向上のために授業改善を図ることとした。



## (2) 学力向上の検証方法 資料P17

### ◎「生徒による授業評価アンケート」

(学習状況調査)を定期的に実施。

学力向上と授業力向上に関わる内容で、  
傾向や変化を分析し指導に生かす。

(7、10、2月)

### ◎学力定着状況確認テスト(2学期)

全国及び県学力・学習状況調査の  
分析結果を踏まえ、課題克服のための  
取組の成果を検証する。

生徒による授業評価アンケート(国語)

令和6年度1・2・3学期

【選択】それぞれ1つ選び、記号に○印をつけてください。

- 1 国語の授業では、前の授業の内容を復習する場面がある。
- 2 国語の授業では、めあてが示されている。
- 3 国語の授業では、自分で考え、表現する場面がある。
- 4 国語の授業では、ペアやグループで自分の考えを広げ、深める場面がある。
- 5 国語の授業では、授業の振り返りがある。
- 6 A 家庭学習(予習)を授業に生かすことができる。
- 6 B 授業を家庭学習(復習)に生かすことができる。
- 7 OPPA単元シートは役立っている。(実施校のみ)
- 8 国語の授業は、分かりやすい。

※1～8については次の選択肢で実施。

ア あてはまる    イ だいたい、あてはまる  
ウ あまり、あてはまらない    エ あてはまらない。

【記述】裏面に書いてください。

- 9 国語の授業で「分かりやすい」ということ。
- 10 国語の授業で「分かりにくい」「改善してほしい」ということ。

## 4 検証と改善 資料P17

- ▶ (1) 生徒による授業評価アンケート（国語）令和6年度1学期7月実施（全生徒）
- ▶ アンケート項目は求められている学力や授業改善の視点、全国及び県学力・学習状況調査の内容を踏まえ、校内研究の取組も反映して作成。生徒の実態を把握・共有するために行い、生徒が主体的に学ぶ授業づくりに役立てる。
- ▶ ○各校ともに、「**自分で考え、表現する場面がある**」「**ペアやグループで自分の考えを広げ、深める場面がある**」などは**肯定的評価**が高く、岡山型学習指導のスタンダード（授業5）が定着していることがうかがわれる。

## 【実践例】高梁北中学校 資料P17

単元名「大人になれなかった弟たちに……」（物語）第1学年

### ▶ 〈話し合い〉

司会を決め、疑問について話し合い、答えを出す。

疑問1～8について班で話し合い、ワークシートに書き込む。

（グループ思考 4名×4・15分）

### ▶ ○授業の流れを説明。話し合い⇒発表

※本時の役割分担は司会

（協働学習：司会、記録、発表、道具）

### ▶ ★ペアやグループ、全体で意見を交換し 共有するから分かりやすい。（生徒意見）

## (2) 生徒による授業評価アンケート（国語） 令和6年度2・3学期実施（全生徒）資料P19

- ▶ 7月と10・2月の集計結果の変化を比較。何らかの働きかけによる変化が必要。アンケートの目的と位置づけ。
- ▶ 【目的】問題の発見と対策
- ▶ 学習過程での問題を発見し、適切な対応を講じることができる。授業での学習アンケートを定期的実施することは、教育の質を向上させ、生徒の学習効果を最大化するために有益である。

## ◎実践例を蓄積し共有化を図る 資料P19

### ▶ ①家庭学習（予習）を授業に生かすこと

- ▶ 授業の前に学習内容に触れることで、授業の理解を深め、主体的に授業に臨むことが期待できる。

### ▶ ②授業を家庭学習（復習）に生かすこと

- ▶ 授業で学んだ内容を家庭での学習で再確認し、理解を定着させることが期待できる。

- ▶ 家庭学習については、創意工夫を凝らして効果的な実践事例の共有を図りたい。授業と家庭学習がうまく連携することで、生徒の理解力が向上し、共通課題についても改善できることが期待できる。

- ▶ ※R7年度1学期アンケートでは、家庭学習（予習・復習）と授業の連携で、肯定的な意見（あてはまる・だいたい、あてはまる）の割合が向上した。継続した取組の成果と考えられる。

## 5 おわりに 資料P20

### 〈よかったこと〉 〈改善点・今後の課題〉

令和7年度 岡山県教科指導支援事業  
【小規模校連携モデル研究】  
国語合同教科会の取組と授業実践

指定校（高梁市立川上中学校・高梁北中学校・高梁東中学校・有漢学園）  
連携校（高梁市立高梁中学校・成羽中学校）